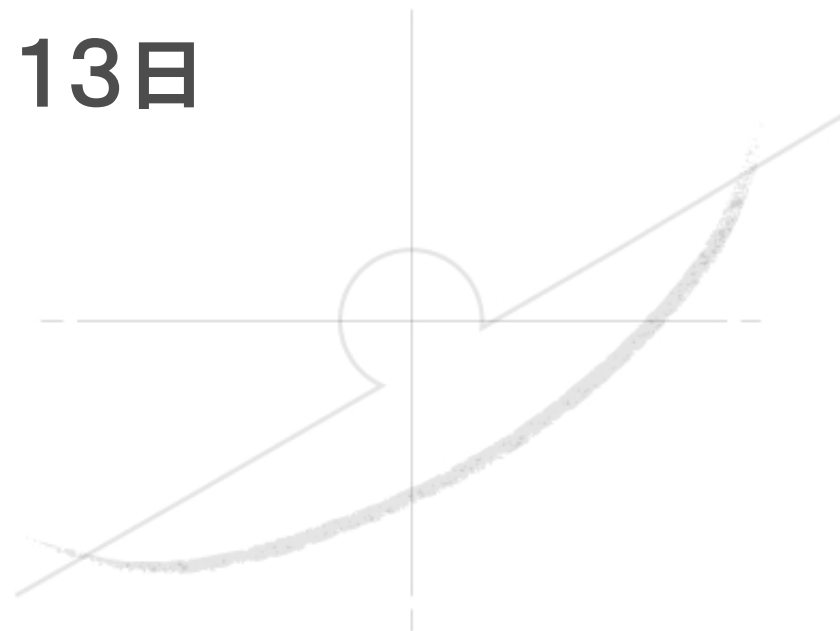




2014年度 通期決算の概要

2015年5月13日





光部品伸び悩むも、その他事業売上増で全体黒字

- 売上高 3,155百万円 (前年比+2.5%)
 - 光部品 前年比 -3.3% 中長距離向け製品売れず
 - 光測定器 前年比 +3.2% 光測定器好調 OCT Volcano反動減
 - ソリューション 前年比 +16.4% PC遠隔操作ソフト好評

営業利益、経常利益、当期純利益 大幅増加

- 営業益 237百万円 経常益 424百万円
 - 高利益率の製品、割合高まり 利益増加
 - 為替差益 95百万円 円安効果
- 当期純利益 454百万円 (前年比+89.0%)
 - 受取補償金および投資有価証券償還益
 - 創立35周年記念配当+4円、期末合計10円を予定

2014年度 実績



当初予想を大きく上回る 当期純利益、昨年度の約2倍に

(単位 百万円)

	13年 通期 実績	14年 通期 予想	14年 当期実績	前年度比		当初予想差異	
				差異	比率	差異	比率
売上高	3,077	3,150	3,155	+78	+2.5%	+5	+0.2%
営業利益	179	140	237	+57	+32.1%	+97	+69.3%
経常利益	307	190	424	+116	+37.9%	+234	+123.2%
当期純利益	240	300	454	+213	+89.0%	+154	+51.3%

※14年通期予想は2014年6月6日発表予想

2014年度末 総資産及び純資産の状況(連結)



受取補償金や投資有価証券償還による現預金増

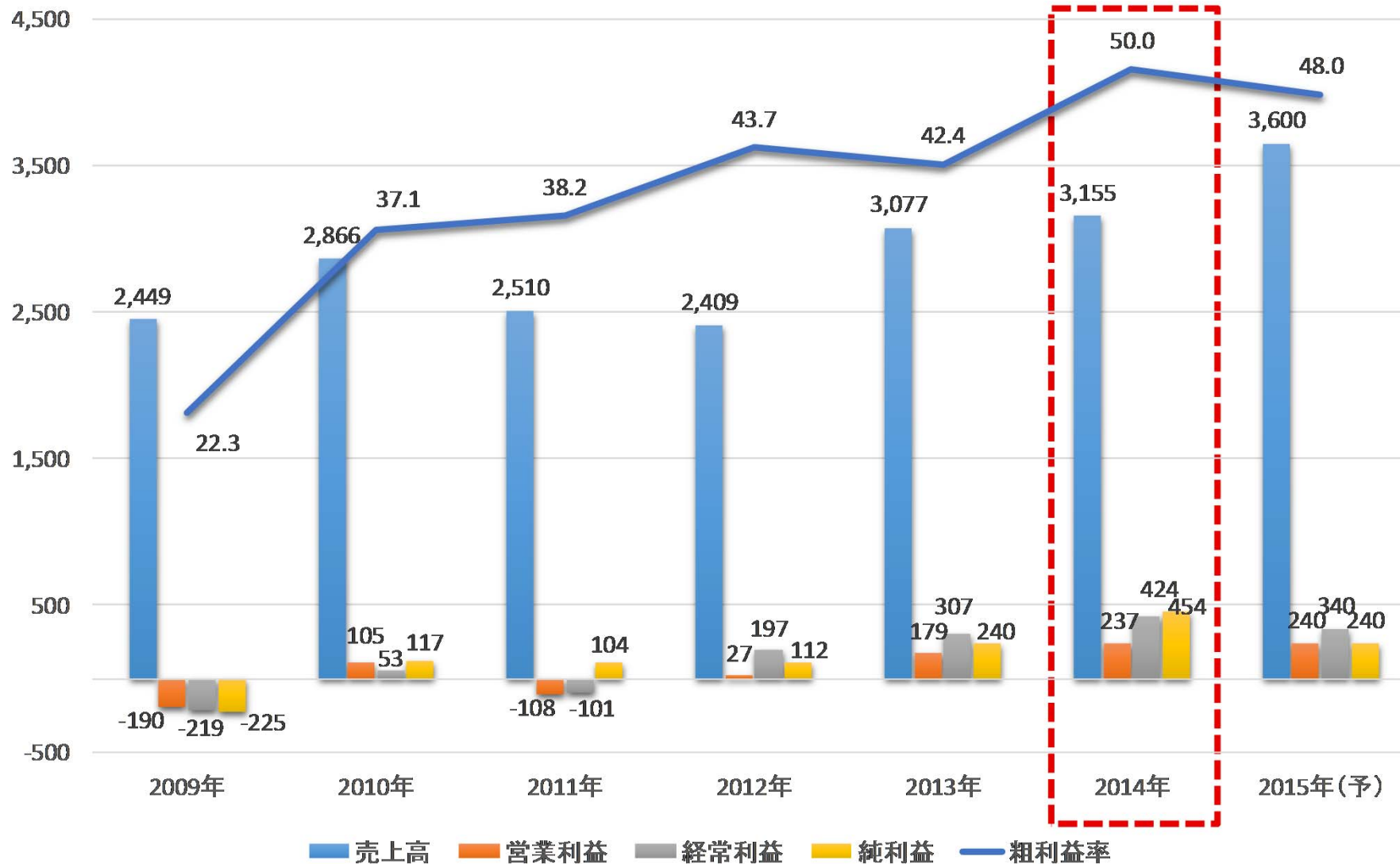
	13年 期末	14年 期末	前年度末比		概 況
			差異	比率	
総資産	8,690	9,173	+482	+5.6%	総資産 増加 現預金、売掛債権増 在庫増
純資産	7,650	7,971	+321	+4.2%	純資産 増加 利益剰余金 増加
自己資本比率 (%)	88.0%	86.9%	—	▲1.1%	
一株当たり 純資産(円)	639.62	666.50	+26.88	+4.2%	

(単位 百万円)

業績の推移 (連結)



(単位 百万円)

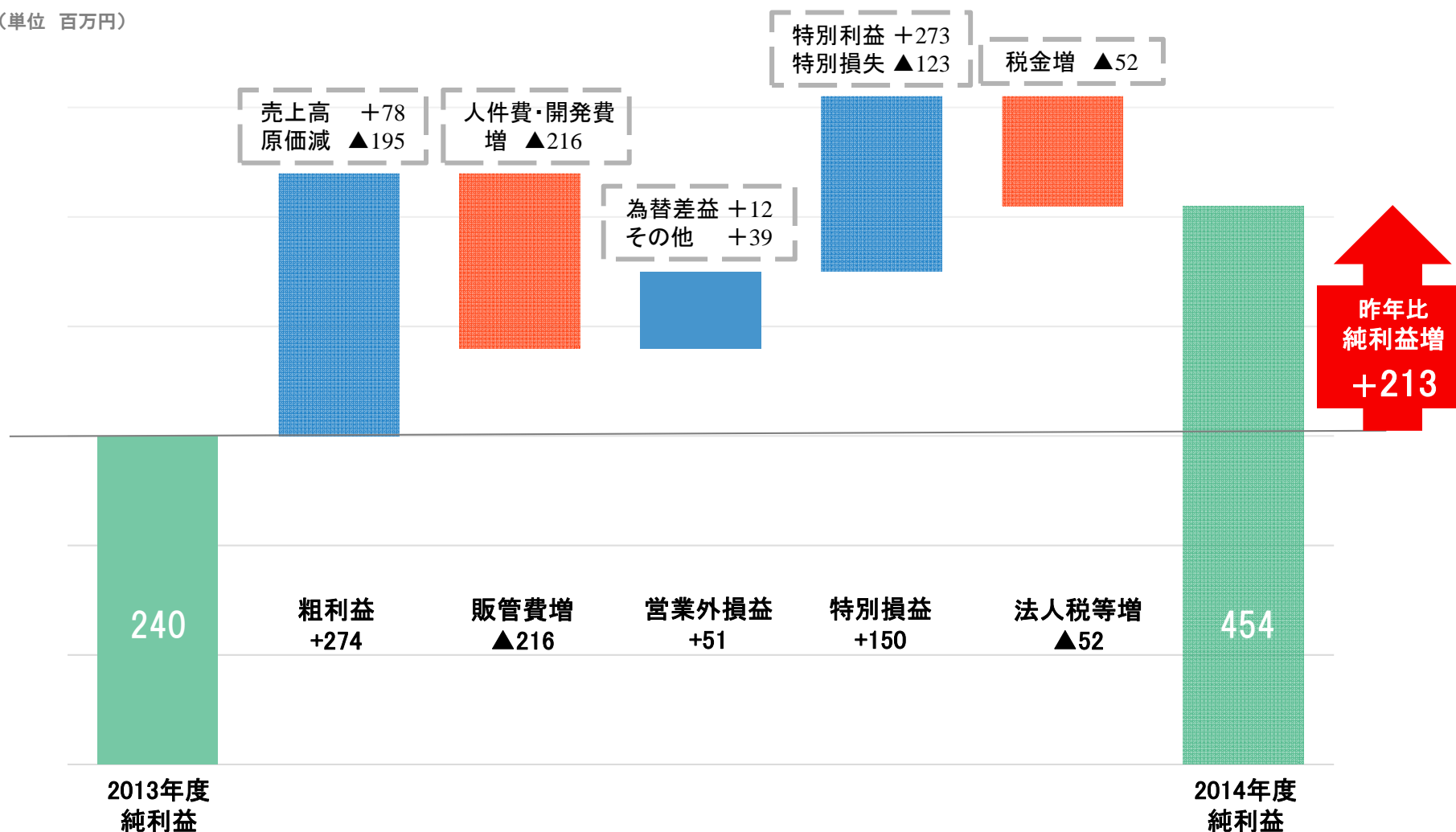


当期純利益の前年度対比分析（連結）



受取補償金および投資有価証券償還益の影響大

（単位 百万円）

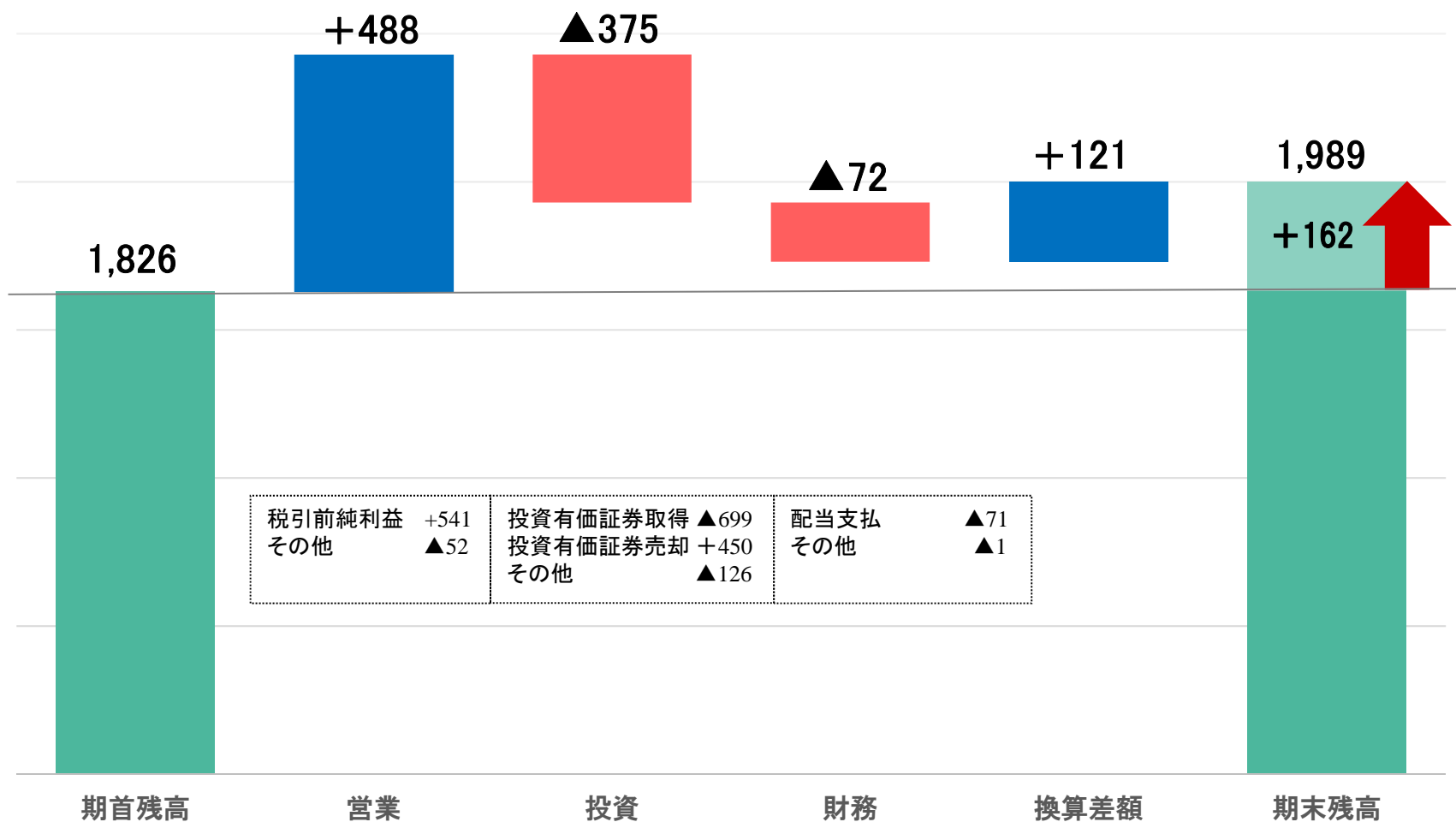


キャッシュ・フロー（連結）



13年度のCF +381 ▲354 ▲36 +108 +99

（単位 百万円）





部品伸び悩むも、他事業で増収増益

(単位 百万円)

	13年 通期	構成比	14年 通期	構成比	前年比	伸長率
光部品	1,100	35.8%	1,063	33.7%	▲36	96.7%
光測定器	1,588	51.6%	1,640	52.0%	+51	103.2%
(内OCT)	924	30.1%	834	26.4%	▲90	90.2%
システム・ ソリューション	388	12.6%	451	14.3%	+63	116.4%
合計	3,077	100%	3,155	100%	+78	102.5%

概況

光部品 売上伸び悩み

WSS出足鈍く

Filter減少

光測定器増収

測定器、中国で大幅増

OCT Volcano社反動減
国内工業用途大幅増

ソリューション好調

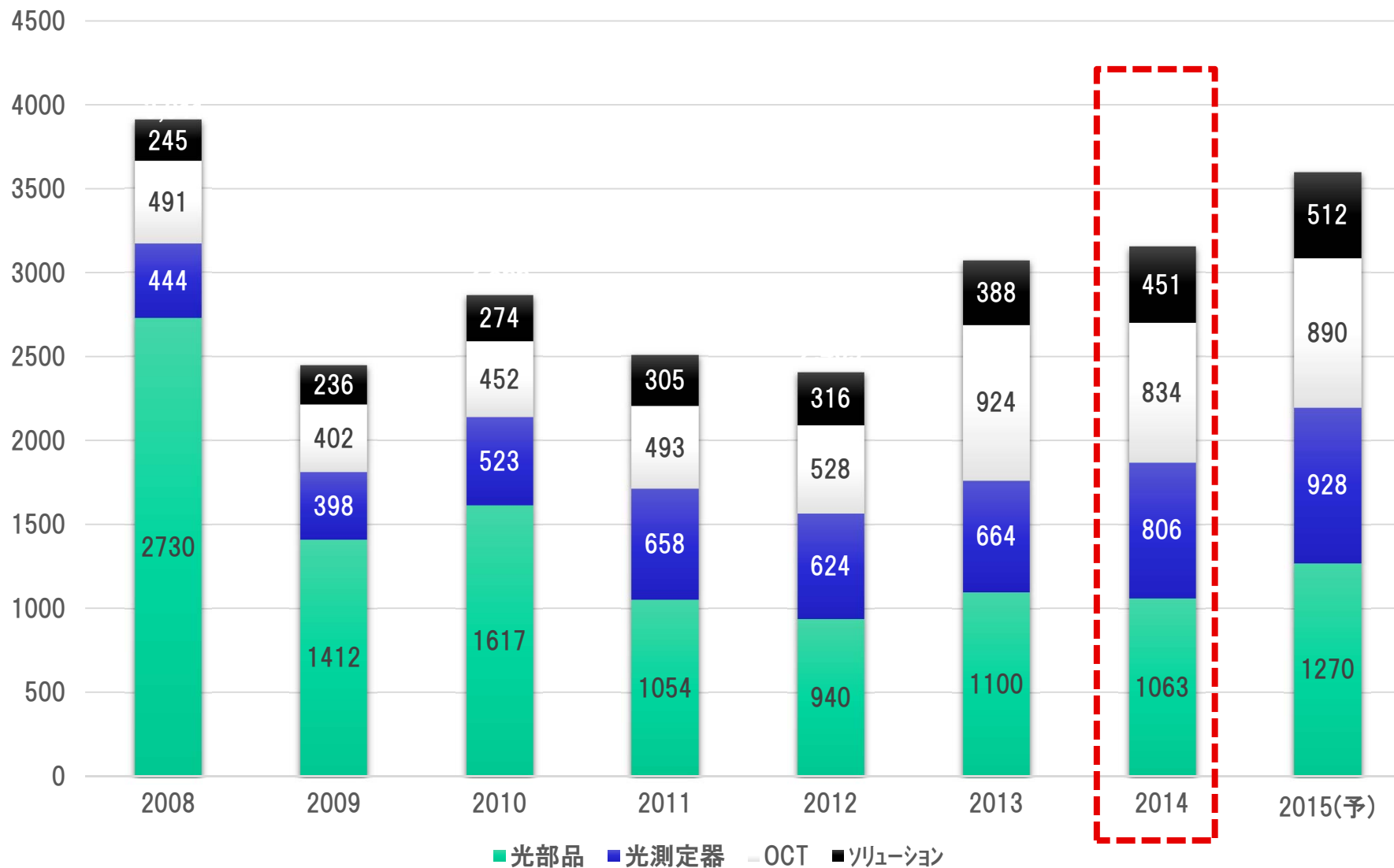
Rview引き続き好評

事業別業績推移 (連結)



2015年度 全事業において安定した収益目指す

(単位 百万円)

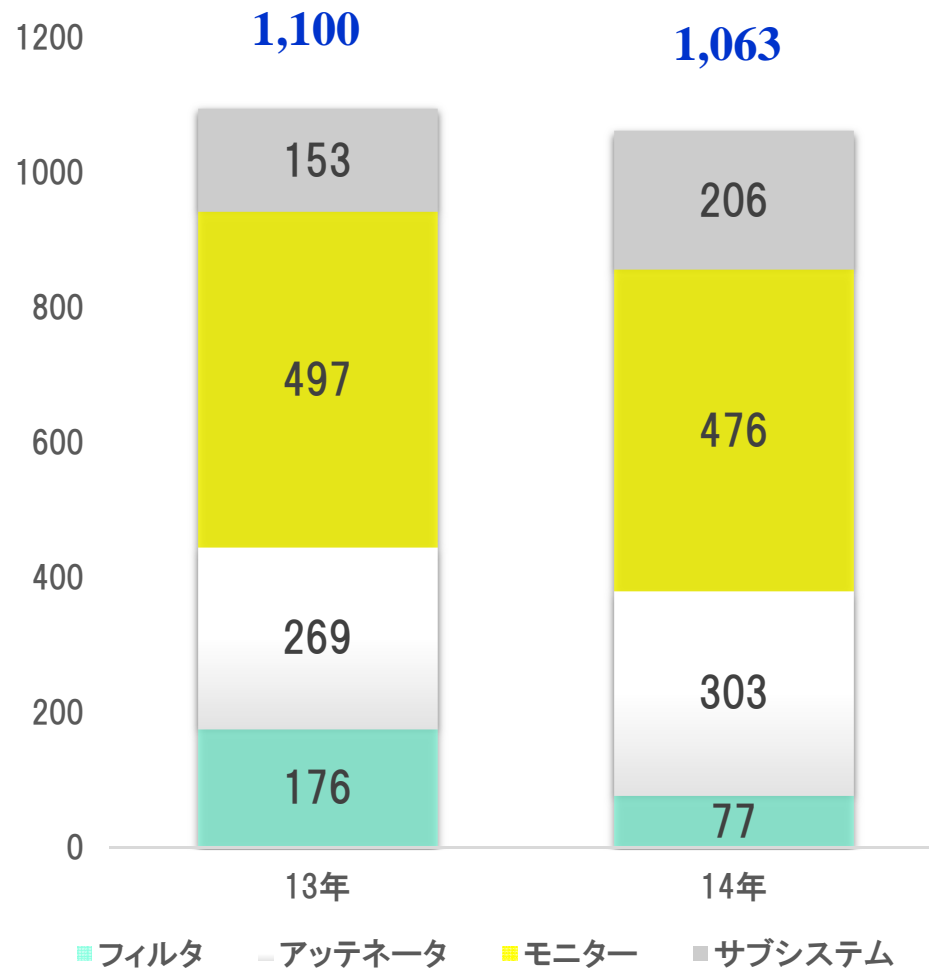


事業別売上高(光部品)(連結)



中長距離向け需要低迷 他製品で補いきれず

(単位 百万円)



概要

国内大口顧客への販売不振

中距離通信向け投資低迷
富士通、NEC向け販売下振れ

企業保有ファイバー向け

データコム系で新たな顧客開拓
非通信分野での需要の可能性

LCOS SLM



精密な空間光変調器を要求する数多くの応用に最適なソリューションを提供。

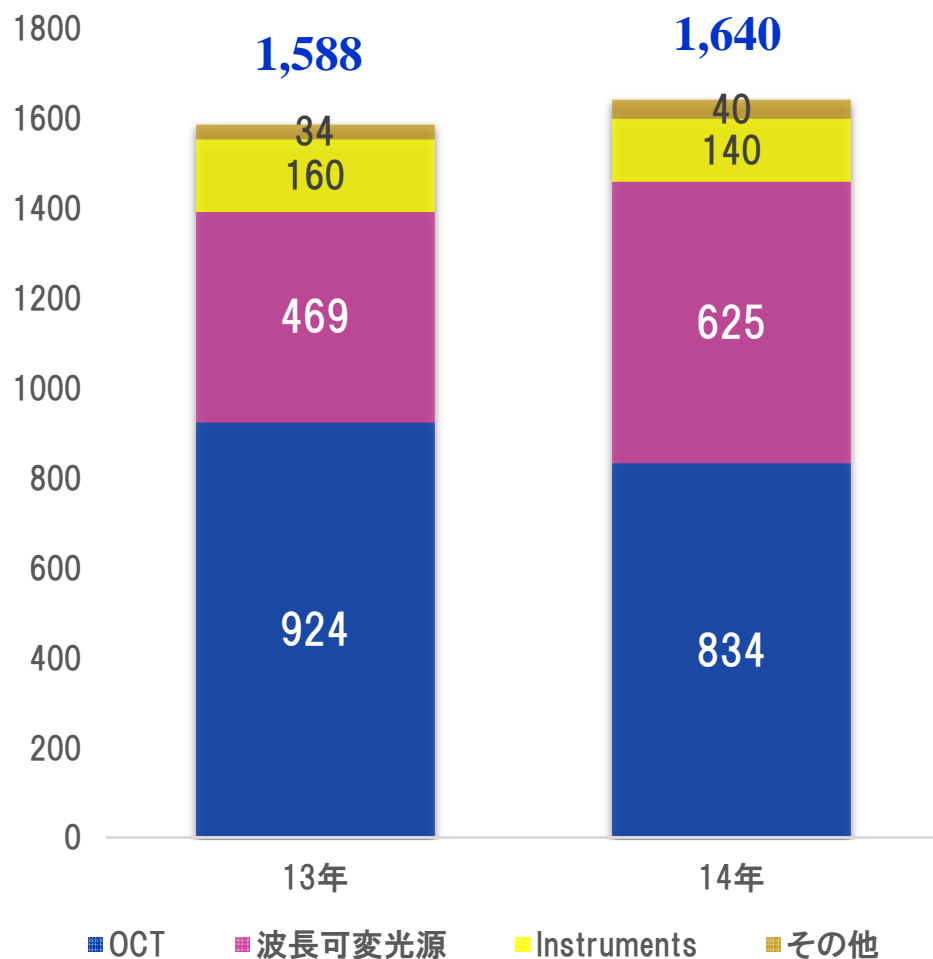
- ・高い解像度
- ・高い位相安定度数
- ・階調の多さ

事業別売上高(光測定器) (連結)



光測定器、日中米で売上増加 OCTは工業用途光源好調

(単位 百万円)



概要	
Instruments	国内伸び悩み 今後は中国に投入
波長可変光源	光部品生産工程向け 日・中・米で売上増加
OCT	国内工業用途好調 シリコンウエハの形状測定
	Tunable VCSELなど よりよく見える光源製品の開発強化、医療分野開拓 挑戦

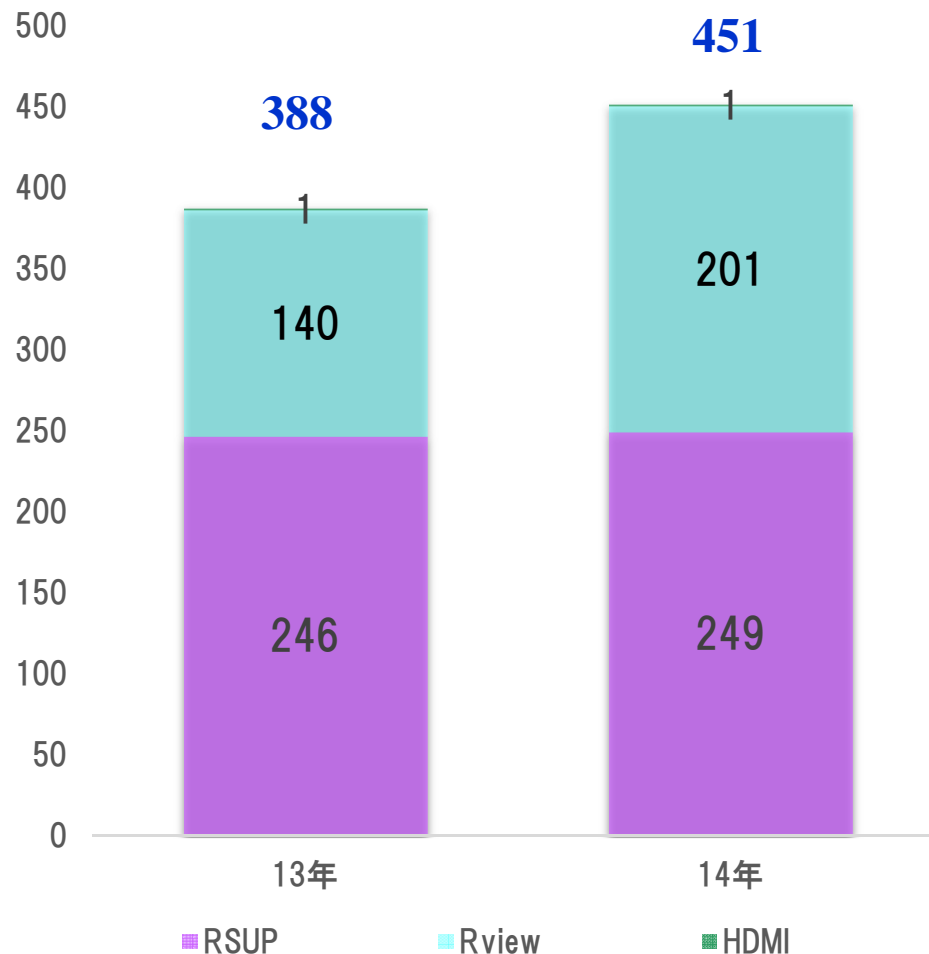


事業別売上高(システム・ソリューション)



PC遠隔操作ツール 売上好調

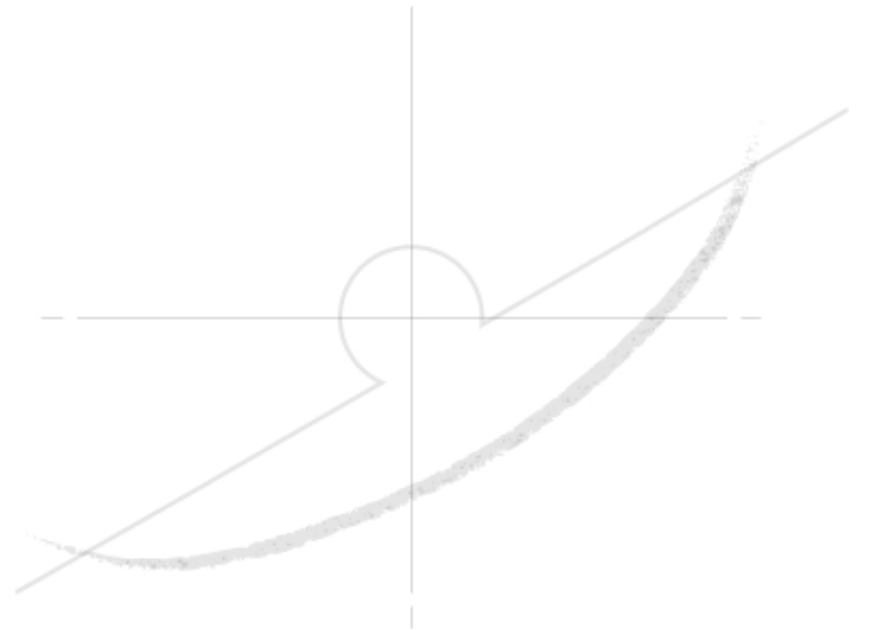
(単位 百万円)



概要	
RemoteView 	スマONEグランプリ 優勝 最も注目度の高いソリューションツール
Rsup 	日本シェアNo.1 PC遠隔サポートツール
Keukey 	日本語版完成 今期販売に向け準備中



市場動向と当社の事業戦略



光部品関連市場の状況



市況： データセンタ向け好調続く

キャリアに続く新たなプレイヤーの登場（北米例）

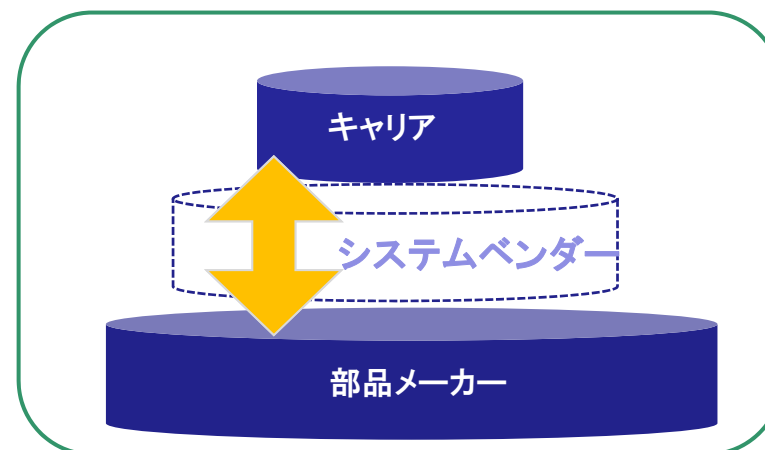
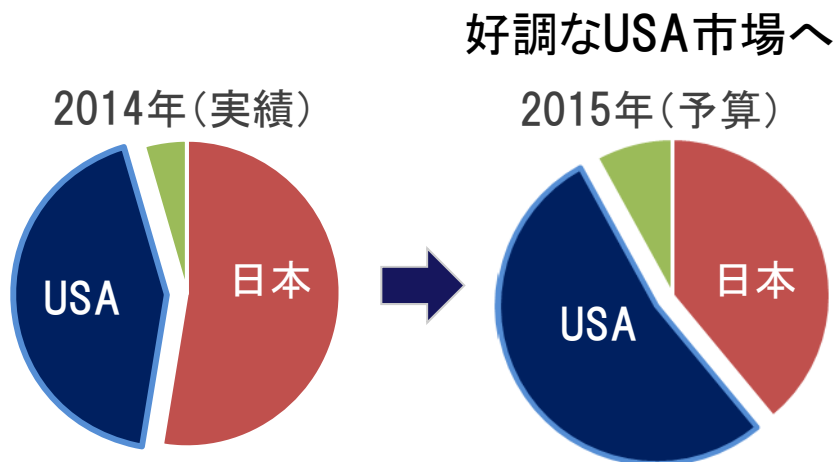


課題： 顧客ニーズの的確な把握による利益獲得

- 新規顧客向けの営業体制確立
- 顧客の信頼を獲得できる品質維持向上
- 勝てる価格に向けた生産の効率化

データコム系は、部品会社から直接部品を購入する戦略。両者にとって、利幅の高い取引が期待される。

グローバル販売体制の強化



光測定器市場の状況



Tunable Lasers and Instruments

市況： 中国・米国が牽引

Tunable Laser需要高まる

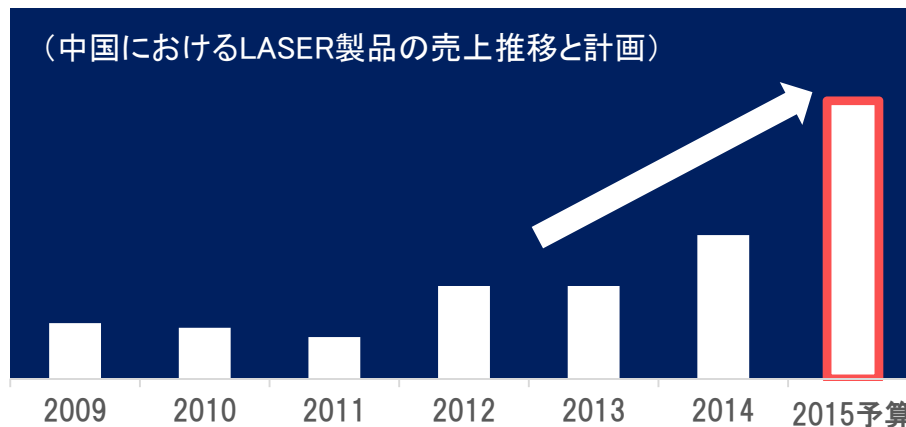
特に中国で売上が大幅に伸びている
通信インフラの成長と比例して、リピーター多
光部品生産工程向け増加

戦略： マーケットでの地位確立

中国営業および営業サポートの強化

中国市場での売上拡大により、市場にお
ける地位を確立する

販売先から顧客ニーズを吸収し、次の成長へ



Optical Coherence Tomography

現況： 新光源技術によりOCT性能UP



Tunable VCSEL

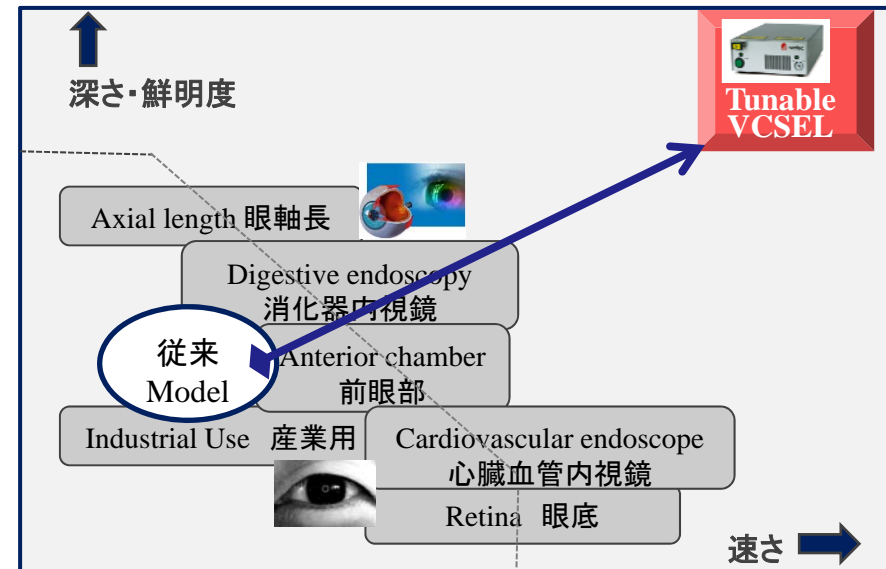
見える深さ
測定速度
画像の鮮明度



戦略： 世界No.1光源技術の確立

光源技術をベースとしたOCTビジネスで医療をはじめとする
様々な分野を開拓

光源多様化による様々な顧客ニーズに対応



システム・ソリューション市場の状況



市況：スマホ普及順調も 決定的とは言えず

意外に低い普及率 普及は若年層中心
4/23日経「ガラケー生産終了」報道に動揺の声多数

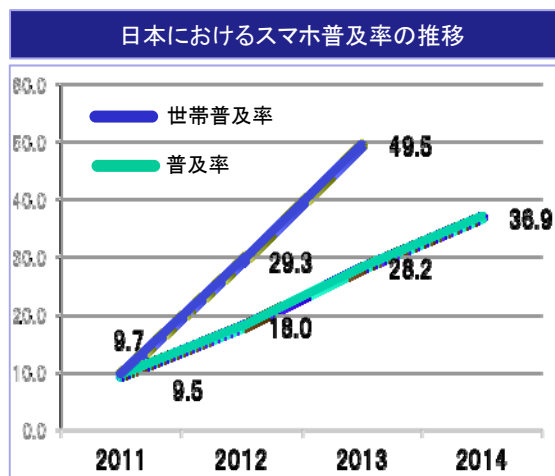
企業導入も一服？ 大規模導入は限定的
スマートデバイスの活用方法に課題が大きい
PCはやはり必要 PCの万能性がタブレットにない

戦略：スマートデバイスに力を与える提案

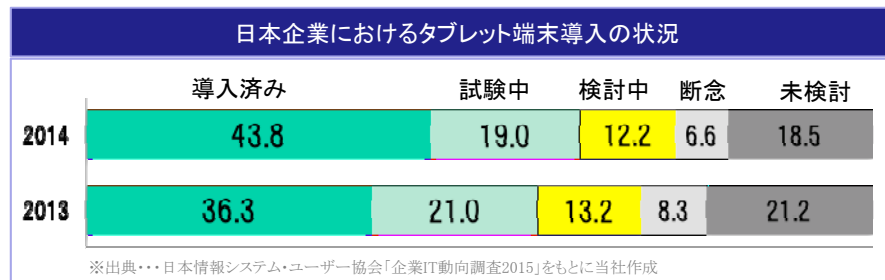
タブレットの機動性 + PCの万能性+過去の資産

RemoteView 製品 企業にとっての有用性に自信
キャリア、SIerとの連携で、大規模導入を開拓

ガラケー層も驚く 新時代の入力手法を提案
新商品“Keukey”日本語版完成
他に例を見ない発想 癖になる快適なキーボード



※出典・・・世帯普及率は総務省「平成25年版情報通信白書」を元に、普及率は日経BPコンサルティング「携帯電話・スマートフォン個人利用実態調査2014」を元にそれぞれ当社作成。国別普及率は、On Device Research社の「Global smartphone Penetration 2014」を転載。



RemoteView 企業での大型導入狙う

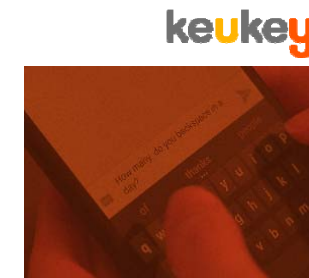
日本シェアNo.1のPC遠隔サポートソリューション「RSUp」の姉妹製品。
社内のPCの画面を転送し、社外から操作する仕組みで、「タブレットの機動性」と「PCの万能性」を融合する。
PC中心の既存システムの資産を失わず、僅かな経費でモバイル化できる。
大企業での大型導入を狙う。



RemoteView

Keukey 日本語版完成 市場投入へ

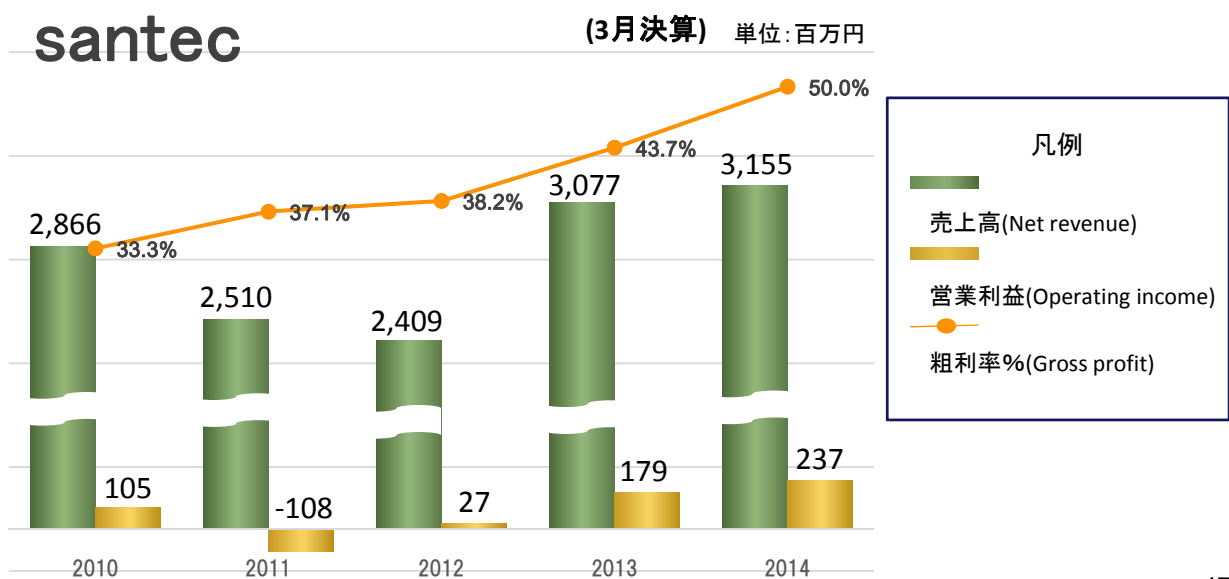
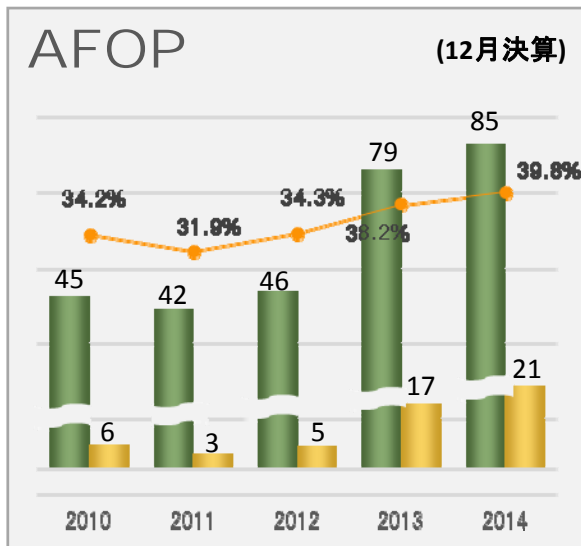
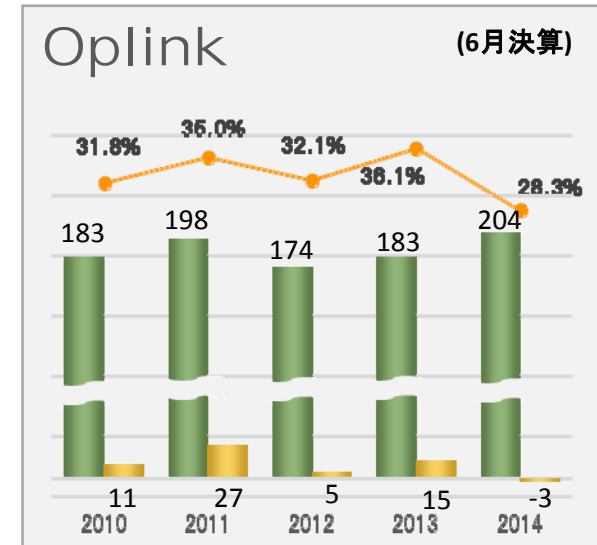
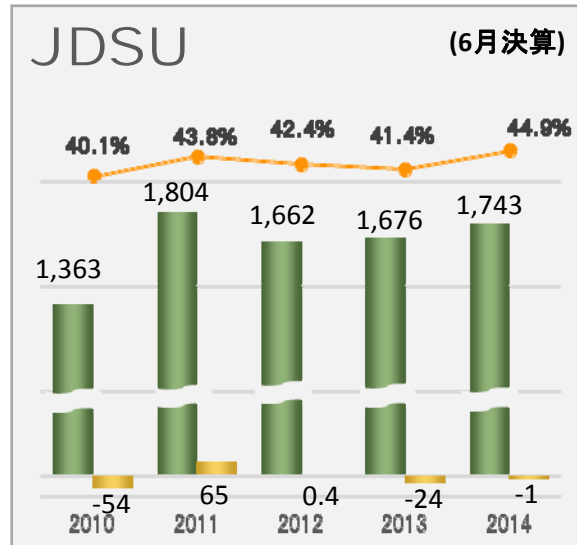
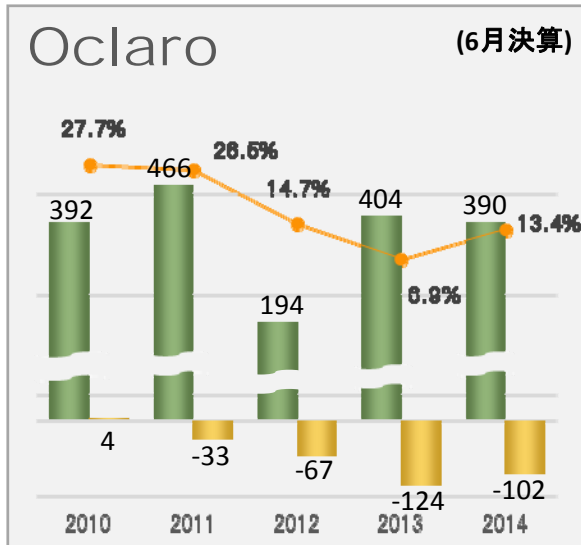
スマートデバイスの課題はキーボード入力が苦痛であること。
Keukeyは「誤入力を減らす」のではなく、「快適に誤入力修正する」手法を提案し、韓国で創造経済大賞・大統領賞を受賞。
ガラケー含む、あらゆるキーボードに搭載可能で、オムロン・ソフトウェアさま協力のもと、iWnn上での日本語版を完成。今期から販売。



ベンチマーク 業績の推移比較 (年間)



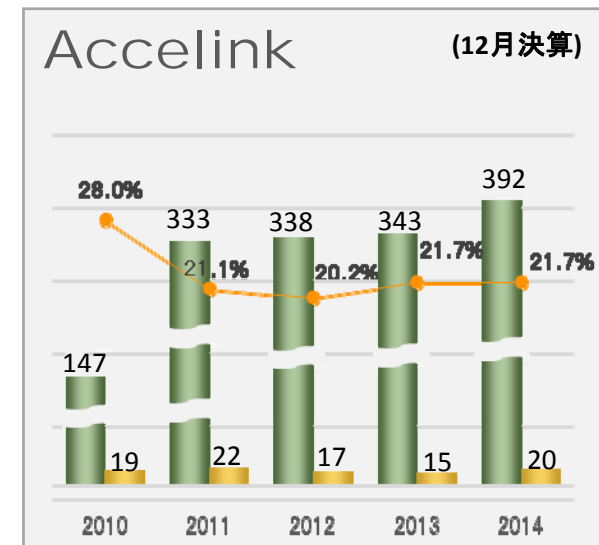
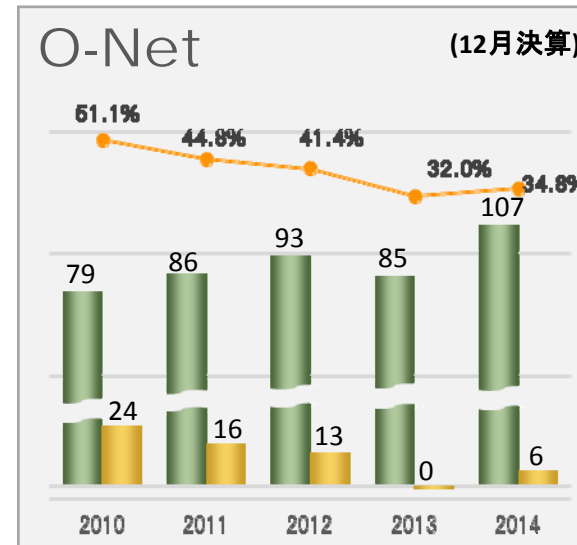
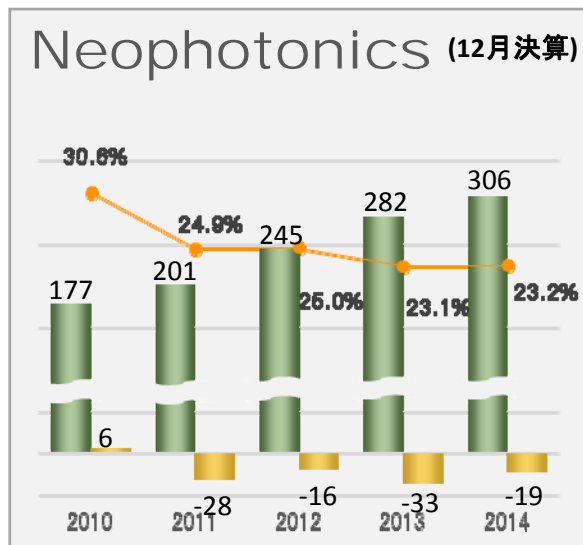
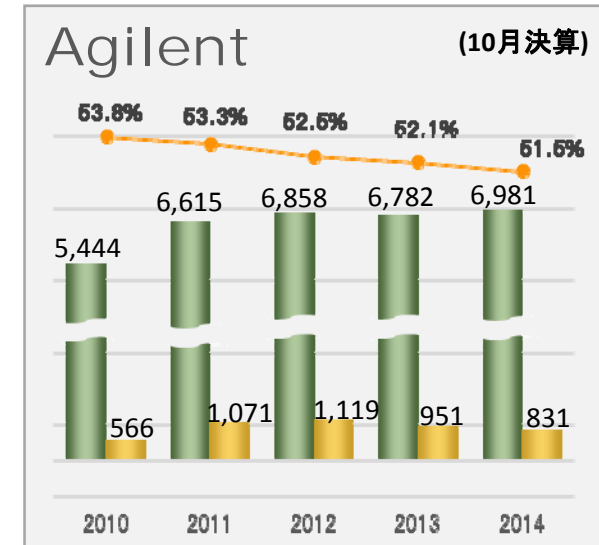
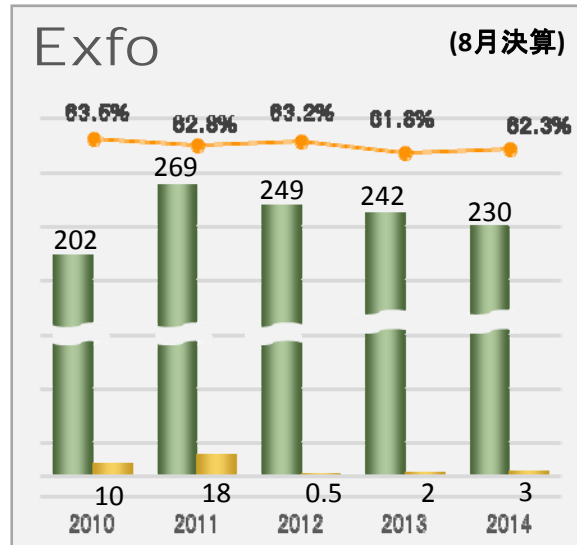
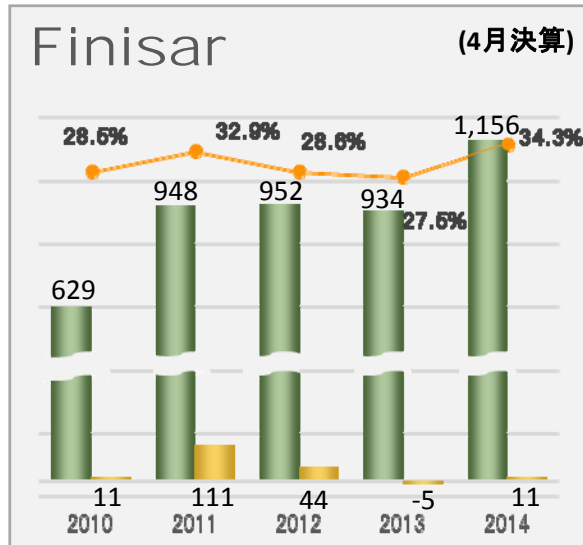
単位: 百万ドル



ベンチマーク 業績の推移比較 (年間)



※決算時のレートで計算



2015年通期予想（連結）



顧客ニーズの先取りとビジネスユニットの自立成長

（単位 百万円）

	14年 通期	15年通期 業績予想	前年度比	
			差異	比率
売上高	3,155	3,600	445	14.1%
営業利益	237	240	2	1.2%
経常利益	424	340	▲84	▲19.9%
純利益	454	240	▲214	▲47.1%
年間配当(円)	10 (内、記念配当4円)	6	(▲4)	—



The Photonics Pioneer of Networking

—— ネットワーク時代の光技術先駆者になる ——

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果はこれらの見通しと異なる可能性がありますことをご了承ください。

本資料に関するお問合せ先

santec株式会社

業務部 経営企画グループ長 山下 英哲

電話 0568-79-3535(代表)

URL: <http://www.santec.com/jp>

〒485-0802

愛知県小牧市大草年上坂5823

フotonクスバレー 大草キャンパス